

酪農だより

あなたへ贈る「白の一滴、心の一滴」ー酪農家の心を食卓へー

特集

ホームページリニューアルの現場に見る
「大山乳業農協らしさ」のかたち

現場潜入

大山乳業農協×鳥取県立琴の浦高等特別支援学校
共同開発の現場

指導課通信

大山乳業農協からのお知らせ



ホームページ

リニューアルの現場に見る

『大山乳業農協らしさ』のかたち



**4年ぶりのリニューアル間近
大切にしたのは
『大山乳業農協らしさ』**

ホームページは1990年代以降、パソコンやインターネットの普及に伴い社会全体に広がり、今や豊富なデザインと表現手法で作り上げる自由度の高い情報発信媒体となりました。

中でも企業のホームページは「24時間働く営業マン」ともいわれ、情報発信ツールとしてだけでなく、集客や企業風土を伝えるツールとしても、企業がホームページに期待する効果は高まっています。大山乳業農協もホームページを活用し組合の特徴を伝えるべく、昨年12月から4年ぶりの大幅リニューアルに向け準備を始めました。

今回のリニューアルのキーワードは「大山乳業農協らしさ」の表現でした。お客様の中には「大山乳業農協」と「白バラ」が別の企業だと思っっている方は多く、また「酪農専門農協」についても世間の認知度が低い傾向です。「大山乳業農協らしさ」の答えは明白そうですが、わかりやすく直感的に伝える表現を見いだすのは簡単ではありませんでした。

組合の大きな特徴である良質な生乳生産、製品作りのストーリーを伝えるホームページにするために複数の制作会社より提案を受け、その中から「生乳生産からお客様に届くまでに関わる『人』にスポットを当てて伝える」という企画を採用しました。

**「生産」「処理」「販売」
製品と共につながる物語**

「生産」「処理」「販売」を一貫して行う体制は全国でも稀と言われ、大山乳業農協の大きな特徴になっています。ホームページではその特徴が感覚的に伝わるように、生乳生産の現場、製造の現場、営業や広報の現場で働くスタッフから見える大山乳業農協を紹介することになりました。さらに今回は、配送スタッフや地元の宅配販売店、量販店など、工場から出荷された製品がお客様に届くまでに関わる方々にも取材を行い、それぞれを主人公にした物語を「白バラ物語」と名付け、製品と共に想いのお客様に繋がっていくストーリーとして表現することにしました。

取材では皆さんの仕事に対する想いや、大切にしていることなどをうかがいました。その内容を写真や動画、文章で伝えることで、お客様に「顔の見える組合」として親近感を持って頂き、ホームページを見た方も主人公の1人（白バラファン）になってもらえることを期待しています。

今回のホームページリニューアルの取材には多数の方の協力が不可欠でした。そのため、日頃ホームページの更新業務を担う総合企画課だけで実現するのは難しく、リニューアルに向け各課から職員を集め、部署の垣根を越えて制作に取り組んでいます。



[P2] 取材のようす（武本牧場にて）／ [P3（左上からご協力いただいた皆さん）] 田宮牧場 田宮さん（大山町）／白バラ企画 石田さん／大山放牧場／市乳課 山吉さん、藤井さん／製造管理課 井上さんご一家（工場見学通路にて）

ホームページを 「生きた広報資産」に するために

多くの方々の協力のもとリニューアルするホームページは、公開されてからが本場のスタートです。生まれ変わるホームページが「生きた広報資産」として、また「大山乳業農協の24時間働く営業マン」であり続けるために、今後もページのメンテナンスや定期的な「白バラ物語」の更新を続け、オンライン上の白バラ物語をホームページで伝えていきます。

さらに、ホームページは組合が運営するその他のコンテンツと掛け合わせることで、より大きな力を発揮することが期待されます。

幅広い世代が活用しているSNS（情報交流サービス）はホームページへアクセスするきっかけになると言われており、現在組合の運営するFacebook、Instagram、Twitterの各アカウントとの連携強化を図っています。今年3月、大山乳業農協は公式SNSアカウントの名称を変更しました。企業公式アカウントとしての発信を印象づけるとともに、お客様に「大山乳業農協Ⅱ白バラ」「白バラⅡ鳥取」を印象付けることが狙いです。

中でもTwitterアカウントは今期目標としていたフォロワー数を大きく上回り、4月には2万フォロワー到達の躍進を見せています。SNSを利用する潜在顧客をホームページに呼び込むこと

で組合を知ってもらい、次世代の白バラファン作りを目指します。

私たち1人ひとりの中にある 「白バラ物語」

「あなたと大山乳業農協にまつわるエピソードを聞かせてください」と聞かれた時、どんなシーンが思い浮かぶでしょうか。

仕事で感じた事、お客様との何気ない会話、家族の歴史、仲間との繋がり。働く部署や働き方、楽しかったこと、辛かったことなど、私達人一人ひとりの中には知らず知らずのうちに「白バラ物語」がいくつも作られているのかもしれない。

皆さんが持つ「白バラ物語」を誰かに伝えることで、大山乳業農協を形作るピースになり、これからも続いていく大切な物語となります。

新型コロナウイルス感染症、そして緊迫する世界情勢。これまでにないほど社会の変化を感じる時代ですが、私達はその時々で立ち止まり、積み重ねてきた歴史を胸に「大山乳業農協らしさとは何か」を追求していかなければいけません。

いつの時代も変わらないことは、「大山乳業農協らしさ」「白バラらしさ」を作るのが大山乳業農協に関わる1人ひとりだということなのです。

「白バラ物語」はみなさんの物語と共にこれからも続いていきます。

新たに歩み始めるホームページは、近日公開予定です。ぜひご期待ください。



現場 潜入

大山乳業農協× 鳥取県立琴の浦高等特別支援学校 白バラプレミアムブルーベリー& クリームチーズが出来るまで

**地元琴浦町にゆかりの
3者が1つになった
商品開発**

今回、大山乳業農協と一緒に商品の共同開発を行ったのは「鳥取県立琴の浦高等特別支援学校」の生徒の皆さん。

大山乳業農協の中でも注目度の高い白バラプレミアムアイスは、リニユールにあたり鳥取県素材を取り入れた地域色のあるアイスです。なかでもブルーベリー&クリームチーズには琴浦町の馬野建設株式会社で生産されたブルーベリーが使われています。

馬野建設株式会社は名前の通り建設業を営んでおられますが、新分野進出事業として、平成16年より「有会社アグリ琴浦」を設立し農業生産法人としてブルーベリー栽培を開始されています。現在では、ブルーベリー生産販売と同時に農産加工品の開発・販売を行う株式会社アグリネット琴浦を設立。自社及び地域農産加工品の企画・販売を推進されている同社と大山乳業農協、そして琴の浦高等特別支援学校の、琴浦町にゆかりがある3者が1つとなった共同開発商品が出来上がりました。

**想いが込められた
3層タイプの
プレミアムアイス**

大山乳業農協が取り組む学生との商品開発は、単なる商品開発だけでなく、「学生がものづくりの過程やその楽しさ

を学び今後の職業選択に役立ててほしい」との思いも込められています。

今回の企画がスタートしたのは昨年6月。生徒の皆さんには7月に実際に使用するブルーベリーの収穫も行っている。ただ、日頃の学校生活では体験することの少ない経験も新商品開発を通じ体験しました。

レシピは、製品開発センターの担当者と一緒に検討を行い、鳥取県産の生乳と北海道産クリームチーズを使用したアイスクリームに、鳥取県産のブルーベリーを使ったソースを合わせて層状にしました。サンプルを食べ比べ、メンバーで感想や意見を交わし合いながら味を決めていきました。

完成したアイスは、濃厚な味わいのクリームチーズアイスの底にビスケットを敷き詰め、上面には爽やかな酸味のブルーベリーソースをのせて3層タイプのカップアイスに仕上がっています。



[P4] 琴浦町長訪問のようす

[P5 (上から)] ブルーベリー収穫のようす／レシピ検討会／取材のようす (琴浦町長訪問にて)／ローソン販売イベントのようす／のぼりを持って呼び込みも行いました／接客のようす

本商品は当組合が販売する「大山牧場シリーズ」の「白バラプレミアム」へのリニューアルに併せ、「白バラプレミアムアイスブルーベリー&クリームチーズ」として発売されました。生徒のみなさんの想いと共に鳥取県を飛び出し、全国のお客様に親しまれるアイスになってほしいと思います。

販売イベントに

地域の方が多数来店

生徒の姿に先生も驚き



4月15日(金)、琴浦町の福本まり子町長を3者が表敬訪問し、共同開発商品の完成を報告する発表会を実施しました。試食された福本町長からは、「クラッシュ風のビスケットのアイデアがとても良いと思う」と感想をいただきました。発表会終了後のマスコミ取材対応では、アイス販売までの過程など、生徒の皆さんが質問に真剣に受け応えをしている様

子が伺えました。

町長訪問から4日後の4月19日(火)。ローソンでの「白バラプレミアムアイス」取り扱い開始に併せ、琴の浦高等特別支援学校近くのローソンポプラ琴浦赤碓店にて、商品をPRする販売イベントが行われました。

ローソンの制服に身を包んだ5人の生徒が、店舗前の売り場や、店舗沿いの道に立ち、プレミアムアイスののぼりを一生懸命に振って近くを通る車に来店を促す様子や、購入頂いたお客様に積極的にあいさつをする姿が印象的でした。

イベントが始まってすぐは慣れない場所や接客の言葉遣いに声をかけづらそうにしていた生徒の皆さんも、お客様と言葉を交わすうちに気づけば先生が驚くほど元気な声で接客をしていました。

事前に新聞を読んだり、ラジオを聞くなどして、楽しみに買いに来てくださっ

たお客様もおられ、生徒さんもと嬉しそうでした。

イベントが終わり、ローソンさんより、197個の販売があったと報告をいただきました。普段アイスクリームの新商品発売初日は20個程度とのこと、今回は予想をはるかに上回る10倍近くの反響があったようです。

中四国のローソンでは数量限定で「ブルーベリー&クリームチーズ」の他に、同シリーズの「ミルク・いちご」の取り扱いもされています。また、同校の生徒が運営するカフェ「ことカフェ」でも商品を使用したメニューを提供する予定となっているようです。

今回の取り組みは、生徒さんにとって製品開発の過程を学ぶだけでなく、学校の大人と関わる貴重な経験になりました。この経験を通して、将来地元で活躍する姿を見ることが出来れば嬉しいです。



発表会のようす



表彰式のようす



十分な距離が取れる広さになりました



食堂も拡張され、ゆっくり休める空間へ

製造部レポート

改善活動「アップデート」の最終発表会が開催されました

大山乳業農協で日々白バラ製品の製造を行う製造部門では、作業の効率化・省力化を進めコスト低減や作業者の負担減に繋げるための「アップデート」という改善活動の取り組みを毎年行っています。

3月26日(土)、18回目となるアップデートの最終発表会が開催され、製造各課が1年間の取り組みの成果を発表しました。

最優秀賞に輝いたのは製造管理課のチーム「Amazing」。ユーティリティー設備の改善として、ボイラーの運転を効率化し燃料であるLNG(液化天然ガス)の使用量を削減する取り組みが高く評価されました。

19回目のアップデートは4月15日にスタートしており、全6チームがこれから1年かけ様々な改善に取り組んでいきます。世界情勢の緊迫で、原材料の値上げや燃料・動力費の高騰が避けられない状況となった今、様々な課題に対応していくためにも、さらなる効率化や省力化が求められます。

大山乳業農協では工場を挙げて、日々の改善活動に取り組んでいきます。

製造部レポート

市乳・ヨーグルト工場の食堂・休憩室をリニューアルしました

この度市乳・ヨーグルト工場の食堂と休憩室の拡張工事と内装工事が終了し、4月から、より広く快適に過ごせるようになりました。

市乳・ヨーグルト工場では、新型コロナ感染拡大後、今までの食堂のスペースでは職員の食事中に適度な距離を保つことが難しく、またマスクを外すという点で感染リスクが高くなることから、コロナ禍に突入して間もなく中止となった工場見学用の部屋を、急遽食堂として使うという対策が取られていました。また、休憩室も一度に大人数の使用にならないよう時間をずらして利用するなどの配慮が必要となり、従業員が快適に休憩時間を過ごすための改善が求められていました。

この度工事を行った食堂と休憩室は、部屋の拡張により十分な距離が取れるようになったことに加え、絨毯や壁も新調し、しっかりと体を休めることができるような空間となっています。

食堂や休憩室といったスペースも工場の重要な設備の一つです。製造に関わる機器が日々進歩していくように、従業員が快適に過ごし安全に作業を行うためのスペースづくりも、時代に合わせて改善が進められています。



県庁訪問のようす



白バラプレミアムアイス



要請のようす



平井知事に要請書を手渡す小前組合長・中村兼三代表

営業課レポート

白バラプレミアムアイス「黒蜜きなこ」 山陽新幹線での車内販売を開始しました

4月11日(月)、大山乳業農協と(株)JR西日本フードサービスネットの2者で鳥取県庁を訪れ、平井知事に「白バラプレミアムアイス 黒蜜きなこ」のJR西日本山陽新幹線(新大阪と博多駅間)での車内販売開始を報告しました。

県庁訪問では、(株)JR西日本フードサービスネットの高坂列車事業本部長より「新幹線の乗車率が減っている中ではあるが、発売から既に3,000個販売されている」と嬉しいご報告を頂きました。

同アイスは、お客様の反応も上々とのことで、事前試食いただいていた平井知事からは「3密より黒蜜。白黒ははっきりした美味しさが味わえます」と得意のダジャレを交えた感想をいただきました。

山陽新幹線での車内販売は3月15日(火)～6月30日(木)までの期間、350円(税込)にて約1万個の販売が予定されています。

白バラプレミアム「黒蜜きなこ」は、他のプレミアムシリーズと共に、大山乳業農協 工場直売所「カウイーのみるく館」でも販売中です。みなさまぜひお試しください。

組合レポート

鳥取県に「飼料高騰にかかる経営安定対策の強化に関する緊急要請」を行いました

4月22日(金)、小前組合長とナカムラファーム(八頭町)の中村兼三代表が鳥取県庁を訪れ、平井伸治知事に「飼料高騰にかかる経営安定対策の強化に関する緊急要請」を行いました。

新型コロナウイルスの感染拡大や天候不順、世界的な原油高による輸送費の高騰、ウクライナ危機などにより、令和4年に入り、配合飼料では31%(令和2年度対比)、輸入乾草では19%(同比)と飼料価格が高騰しています。これにより、農家所得は約40%減少し、農家の経営状況は急激に悪化しています。

小前組合長は「酪農家の経営を継続できるよう、支援をお願いしたい」と訴えられ、配合飼料価格安定制度の確実な運用と長期化に備えた制度の見直し、輸入乾草の購入支援を国に働きかけるよう要請し、県独自の支援策も求められました。

これを受け、平井知事は「資金繰りや経費の支援など、できるだけ効果のある対策を考えたい」と述べられ、国に緊急対策を要請した上で、対策費を盛り込んだ補正予算案を5月定例会に提案する考えを示されました。

指導課通信

今月のトピックス

・ゲノム解析とは

ゲノム解析とは

●ゲノムって何？

ゲノムとは、遺伝子(gene)と染色体(chromosome)から合成された言葉で、体の設計図であるDNAの遺伝情報のことです。遺伝とは、たとえば体形が似ている、ある病気にかかりやすいなどの、親の生物学的な特徴が子供に伝わることで、それを伝えるDNAの特定の部分が遺伝子です。同じ飼養管理をした場合、土台となる生産性の高い遺伝評価の牛は管理がしやすいと言われています。同じ飼養管理でも乳量や乳成分が異なることや、病気に罹りにくいなど遺伝によって差が

出ていると考えられています。父母がまったく同じフル兄弟でも遺伝的な差はありますし、双子の場合でも大きな差が出ることもあります。

表1は双子のゲノム評価の数値を一部抜粋したデータです。体細胞数以外の数値は高い方が良いとされています。あなたならどちらを後継牛としますか？

表 - 1	D 指数	生産寿命	妊娠率	脂肪率 (%)	体細胞数
双子 A	13	0.2	0.4	-0.05	3.12
	1	-0.1	0.3	-0.01	3.01
双子 B	121	3.9	1.6	0.11	3.05
	92	4.3	-0.3	0.01	3.06
双子 C	60	2.1	1.2	0.11	2.98
	19	0.5	0.3	0.13	3.05

従来の乳牛評価では搾乳を開始して終了するまで3年以上かかるので

すが、ゲノム解析では検査から2ヶ月程度で判明します。本県では後継牛の比率が高いため、どの牛から後継牛を残すのかを判断することで、遺伝的な改良を進めることができます。

●ゲノム解析の分析項目

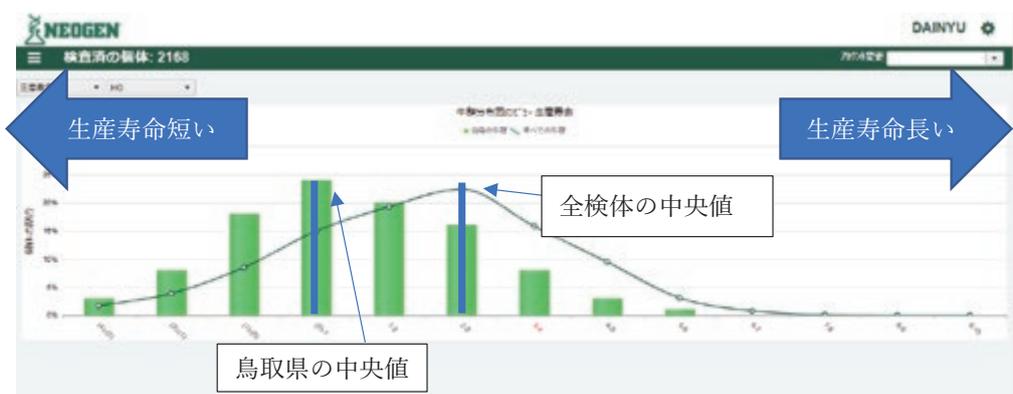
海外のゲノム解析では、疾病や繁殖性についても解析が進んでいます。その検査項目は「健康形質」「繁殖形質」「能力形質」「体型形質」その他の遺伝情報」などからなり96項目に亘ります。酪農経営において、長年目標の一つとされてきた長命連産を叶えるためには飼養管理だけでなく遺伝評価も取り入れることで経営の両輪として活用できると考えられています。

●ゲノム検査方法

海外のゲノム検査方法は血液を使っていましたが、採取も大変ですしDNA量が不足しており再検査が必要なものもありました。最近では写真の専用アプリケーションとチューブを使って耳標装着の要領で簡単に採取することが出来ます。またDNA量が多いなどのメリットもあるため、いまでは海外に送るサンプルは全てこの方法を使っています。

●生産寿命とは

生産寿命は、その言葉通り予測された生産できる寿命です。平均して生産寿命が長い牛群ほど雌牛の更新が少



鳥取県の実績は少し低い傾向があります

DNA検査でのメリット

- 毛根、皮膚、血液を含んだ耳片は、通常毛根より多くのDNA抽出が可能です。
- 保存液により、良質なDNA抽出液が提供されます。
- 前処理不要でそのまま分析に使用可能です。(48時間浸漬後)
- 保存液により採取サンプルを安定的に保管できます。(常温で1年間)
- 冷凍により長期保管も可能です。(最長10年、冷凍温度による)
- サンプルの再分析が可能です。(保存液追加により複数回分析可能)
- 検査機関の手順において大幅な時間節約が可能です。



当組合としての推奨する重みづけを作成しておりますのでご紹介いたします。D指数とはダイニユウ指数の略ですが、表のようにそれぞれの形質に重みを付けています。ゲノム解析には沢山数字がありますので、どこを見ればいいのか？という声に対応してD指数を作成し活用していただいております。

D指数とは
 本県における取り組みは2017年から実施しておりますが、開始初年度は当組合独自の助成事業として開始し、その後一部規定内容の変更はありましたが、県からの追加補助も継続していただいで2/3の補助が付いております。ゲノム検査の結果は牧場ごとにお返ししておりますし、それを種雄牛選択に利用されている農場もあります。

D指数の重み付け					
健康形質		繁殖形質		能力形質	
生産寿命	25	娘牛妊娠率	25	乳量	15
低Ca血症	5	子宮炎 *1	5	脂肪率 (%)	5
第四胃変位	5			体細胞数 *2	5
ケトーシス	5				
乳房炎	5				
比率 (%)	45	比率 (%)	30	比率 (%)	25

詳細は酪農指導部指導課までお問い合わせください。

なくて済むため、生産コスト削減の重要な要素といえます。生産寿命が高い牛は疾病が少なく繁殖も良いとされています。本県における生産寿命をグラフにしてみました。全検体の中央

値と比べて若干左側に中央値があり少し短い傾向があります。この生産寿命(PL)と表記されています)の数値が高い牛を後継牛として残していきます。

番外編

第12回 あたたくくなって…

あたたくくなり、いろいろな生き物が動き出す季節になりました。我が家は、子供が生き物大好きで、捕まえて観察したり、そのまま飼育したりしていますが、毎年この時期になると、またいろいろなものを捕まえてきます。そのおかげで、家にはいろいろな生き物がいます。爬虫類、両生類も飼っていますので、そのためのエサ(コオロギ)の確保が一番大変です。

爬虫類、両生類などと聞くと、可愛げのない、気持ち悪い印象を持たれる方が多いかと思いますが、飼ってみるととても可愛いものです。ちなみに私はヤモリとカナヘビが好きで、クリっとした眼、いつも笑っているような口、手に乗せたときの足の指の吸い付き具合なんて、たまらく可愛く、相手は嫌かもしれませんが、思わずなでてしまいます。また脱皮している様子は興味深く、ずっと見ていられます。

意外にも爬虫類等を飼っている人は身近におり、その友人と出会うと、エサのコオロギの確保や新しく飼った爬虫類のことなど、いつもつつい長話になってしまいます。

みなさんの周りにも隠れ爬虫類好きはいるかもしれません。興味のある方は話題に出してみてもいかがでしょうか。



私の推しは「ミルク」です！

このシリーズは合言葉「ミルクファースト」を掲げ、「乳」を味の主役ととらえ開発されたプレミアムアイスです。生乳、乳製品は鳥取県産、こだわりの製法から生まれる味わいは、濃厚クリーミー！最高におすすめです。ぜひ食べてみてください。

大山乳業農協

2022 牛乳月間イベント紹介

牛乳月間中の大山乳業のイベントや企画をご紹介します！

Instagram企画
白バラフォトコンテスト

昨年グランプリ作品



●開催期間：

2022年6月1日
～6月30日

毎年たくさんの応募を頂いている白バラフォトコンテストが今年も開催決定！好きな白バラ製品を撮影して「#白バラ牛乳月間」を付けてご応募ください。皆様からのご応募お待ちしております！
※P12にあるQRコードよりご参加ください。

大山まきばみるくの里
白バラ牛乳列車展示



●開催期間：

2022年6月1日
～6月28日

今年も、大山まきばみるくの里にて、白バラ牛乳・白バラコーヒー貨車を引いた「白バラ牛乳列車」が走行します！昨年見逃したという方は、ぜひご覧ください。

特選白バラ牛乳Tシャツが新登場！

「白バラTシャツ」に新シリーズが登場！今回はなんと、宅配商品でおなじみの「特選白バラ牛乳」をそのままTシャツにしました。細かい部分に、様々なこだわりと遊び心が詰まっています。このTシャツを着て、白バラ愛をアピールしてみませんか？

どんなデザインになるかな？



みなさま、こんにちは。品質管理課課長の古田です。私のおすすめは今年の大型新人！白バラプレミアムシリーズ。中でも私は「ミルク」がおすすめです。



大山乳業農業協同組合 からののお知らせ

D a i n y u I n f o r m a t i o n

理事会だより

理事会にて次の議決が決議されました

4月20日提出議案

- 第1号議案 決算監事監査指摘に対する回答について
- 第2号議案 3月末経営検討について
- 第3号議案 固定資産の取得について
- 第4号議案 各種規程の一部変更について
- 第5号議案 伯耆酪農商事(株)の株式取得について
- 第6号議案 役員報酬について

直売所からののお知らせ

6月のカウイーのみらく館イベント情報！

父の日似顔絵大募集！

店内にある専用用紙にお父さんの似顔絵を描いてスタッフにお渡しください。似顔絵を描いてくださった方に粗品をプレゼント致します！



似顔絵はしばらくカウイーのみらく館に飾らせて頂きます。

イベント期間は6月1日(水)～6月19日(日)
皆様からのご応募、お待ちしております！

東京営業所 移転のお知らせ

東京営業所 所長の井川です。この3月、更なる東京営業所の事業拡大に向け事務所の移転致しました。

早いもので、東京営業所が開設され4年の月日が流れました。当初から振り返って見ますと、関東圏での知名度アップを最大の目標にここまで邁進して来たように思います。

現在では、関東の量販店にもアイスクリームや牛乳関係などを定番商品として導入して下さる店舗も増え、少しずつではありますが販売高も伸長している状況です。

今後においては、東京営業所開設当初に組合長から授かった「ミルクロード構想」を胸中に、現状に満足することなく東京営業所全員で販売拡大に向け邁進して行く所存です。

遠い地のため不都合な面もございますが、今後の事業拡大には皆さまのご支援ご協力が必要になって参りますので、引き続きよろしくお願いたします。

このコロナ禍が落ち着き、以前のように関東にお越しの際は、お気軽に東京営業所へお立ち寄りください。



事務所のようす



東京営業所が入居する建物

異動辞令等

【令和4年5月1日付け】

(所属及び役職) (氏名) (旧所属及び役職)
販売部

東京営業所 課長補佐 鈴木 希 中途採用

■数年前に鳥取島根旅行に行った際に、白バラ牛乳とアイスクリームを食べたの思い出に残っています。贅沢な牛乳の旨味が今でも忘れられず、次のGWに久しぶりに訪れるので楽しみにしています。(千葉県)

■学生時代に、初めてコンビニで買って飲んだ白バラコーヒーの美味しさは未だに忘れられません。こんな美味しいコーヒーがあるのか！と衝撃で、それから毎週飲んでいたので覚えています。(広島県)

■とても美味しいし、有名なメーカーなので安心して飲むことが出来ます！今コロナの影響で牛乳が余っているということが問題になっているので沢山飲みたいと思います！(熊本県)

■コロナ禍で2年ほど、そちらに伺えませんが行けるようになりましたら旅行したいです。生産者の方々、大変な世の中ですが頑張ってくださいませ。心から応援します。(神奈川県)

■どれも美味しくて大好きです。鳥取のブランドなので県外の友人や親戚へのお土産に利用することもあります。プレミアムアイスクリームがリニューアルされたということでも楽しみです。6種類全部試してみようと思っております。(鳥取県)

■白バラコーヒーが大好きで、500mlを毎週2本は飲んでます。甘すぎないコクのある味が大好きです。いつもおいしい白バラコーヒーをありがとうございます！(愛知県)

ホームページ
からの
お声



JAグループのウクライナ難民 支援募金活動を実施しました

Dainyu-PICKUP!



ウクライナ各地での戦闘の激化により、多くのウクライナ市民に被害・影響が生じています。

この状況を受け、JAグループの取り組みとして、組合員・役職員による支援募金活動が実施され、当組合も本活動へ参加いたしました。

今回の活動に関しまして、多くの方からご援助頂き、たくさんのご寄付が集まりました。ご協力頂いた皆様、ありがとうございました。

頂いた募金は、WFP国連世界食糧計画、国連難民高等弁務官事務所、日本赤十字社、国際協同組合同盟に振り込まれ、ウクライナの支援活動に充てられます。

編集後記

あつという間に6月がもう間近に迫ってきました。6月と言えば「牛乳月間」。大山乳業農協でも様々なイベントを計画しています。「牛乳月間」を通じて世界の方々と繋がれると思うと楽しみです。皆さんもそれぞれの楽しみ方で牛乳月間を満喫してください。

組合の公式SNSアカウントでも情報発信中!!



twitter



Facebook



Instagram

大山乳業農協ではホームページだけでなく、ソーシャルメディアを活用した情報発信も行っています。ぜひチェックしてみてください!



YouTube

酪農だよりに関するご意見ご感想は大山乳業農協
お問合せフォームからお寄せください
QRコードからもメールアドレスを取得できます▶



北栄町「ほくほく食堂」へ商品協賛 白バラヨーグルトをパクリ!

Dainyu-PICKUP!



3月25日(金)、北栄町「ほくほく食堂」へ商品協賛を行いました。

「ほくほく食堂」は、春休み期間中の子ども達とひとり暮らしの高齢者の孤食への対応や、居場所づくりを目的として定期的に開催されている取り組みです。

この取り組みへの協賛は例年実施しており、今回は「白バラ生乳ヨーグルト」を提供しました。

担当の方によると、大山乳業のヨーグルトはとても人気があり、子供たちは「おいしい!」と言いながら喜んで食べてくれたようです。今後も地域の方を支える貢献活動を行っていきます。

あの日・あの時

大山乳業「酪農だより」バックナンバーから当時の様子を覗いてみます



今回は、平成7年12月20日発行「酪農だより第407号」より、第10回全日本ホルスタイン共進会の様子です。この共進会には鳥取県から4頭が出品され、岡村博明さんの出品した牛が入賞を果たしました。参観した鳥取県ホルスタイン協会的那須和四郎参事は「未經産が前回に続いて優秀賞を得たことは、鳥取県の育成技術向上の表れ。今後は経産牛での上位入賞を」と大会の感想を締めくくられています。

酪農だより vol.724



大山乳業農業協同組合

発行責任者/小前孝夫 編集責任者/平野 浩
印刷所/山本印刷株式会社 発行日/令和4年5月20日

〒689-2393 鳥取県東伯郡琴浦町保 37-1
TEL.0858-52-2211(代) FAX.0858-53-1501
https://dainyu.or.jp E-mail:email@dainyu.or.jp